

決算審査特別委員会審査報告

第1決算審査 特別委員会

平成18年度御前崎市一般会計歳入歳出決算の認定の内、総務部、事業部、会計課、監査委員の所管に属する事項について

問 財産管理費中、市有財産管理事業の電算業務委託料について、18年度でシステム構築は完了したのか

答 18年度単年度事業で、台帳整備のため市町村合併推進体制整備補助金の750万円を充当させて、整備させていただきました。

問 企画費中、市の歌創作事業について、市歌のCDをもらっても高齢者世帯等ではプレーヤーが無く、聞けないというケースもあつたようだが、1枚当たりの費用は

答 作成枚数は1万2千枚で、事業費953万6千

円を割りますと1枚当たり795円程度です。

問 文書広報費中、印刷製本費の広報おまえぎぎについて、班外世帯へほどの程度行き渡っているのか

答 全部で9、200部発行しており班外世帯には配布はしておりませんが、19年度よりコンビニへ、また、公民館等公共施設にも置いてあります。



問 徴税費が減額となっているが、住民税の負担により個人市民税の収納状況が悪いようであり、税

務課だけでなく執行部の取り組みへの考えは

答 関係各課と何らかの対策を考えて対応したいと、現在検討中であります。

問 水産振興費中、漁業振興事業補助金は18年度からの事業か、内容は

答 18年度からの御前崎漁協に対する補助金であり、御前崎沿岸の漁獲量減少に対して独自に繁殖、漁場管理、資源管理等をおこなっており、漁業の振興を図るために補助したものです。

問 商工業振興費中、企業誘致事業の普通旅費についてどんな企業へ誘致に行ったのか

答 東京、名古屋、大阪に案内セクションがあり、特別企業訪問へ参加をしております。また、県内



館に対し379回、会議室は316回使用されておりますが、観光拠点として何らかの使用を考えていきたいと思えます。

問 観光費中、花火大会の事業について、際限なく事業費が増えているようであり、その日限りの衣服費など事業内容の見直しも検討していただきたい。名称も「御前崎みなと夏祭」と名前が昨年と変わっているため、内容も変わったように誤解されるのではないかと

答 事業内容見直しについては、昼間の電源立地交付金事業と花火の観光協会委託事業、2つのイベントが重なっている事業であることをご理解願いたい。「だっくら」ではさ

問 観光費中、観光物産会館管理事業で2、100万円ほど使っているが、有効利用を図るべきではないか

答 現在、観光協会と商工会が契約を結び入っており、観光物産会館には18年度年間入館者約2万6千人、ホール、研修室の貸し出しは316日の開

の後の管理は個人で責任を持つように実行委員会でも指導しております。名称については昼間の